

感染症情報 10月14日～20日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①手足口病	1,044例(堺市	66例)
②感染性胃腸炎	537例(堺市	43例)
③溶連菌感染症	271例(堺市	47例)
④RSウイルス感染症	104例(堺市	17例)
⑤突発性発疹	42例(堺市	2例)

府下306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 168例(堺市 29例)

報告数による順位。前週比13.5%減の2,122件であった。手足口病が府下で17%減、堺市で前週93例→今回66例であった。定点当たり大阪府では5.30(警報レベル)、堺市は3.47であった。直近の大阪府ではコクサッキーウイルスA16型が検出されているとある。感染性胃腸炎が府下で前週から5%減、堺市で前週72例→今回43例であった。溶連菌感染症が府下で16%減、堺市で前週49例→今回47例であった。RSウイルス感染症が府下で16%減、堺市で前8例→今回17例であった。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で47例→59例で26%増。堺市で8例→10例であった。

インフルエンザが府下で前週285例→今回168例は41%減であった。堺市で前週30例→今回29例であった。

府下306医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 310例(堺市 40例)
大阪府定点 1.01 堺市定点 1.38

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
9	16	15	41	18	28	28	37	29	43	46	310

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府は前回440例→今回310例で30%減、定点当たり1.44→1.01。堺市は前週57例→今回40例で30%減、定点当たり1.97→1.38であった。

麻疹や風疹の報告なし。